

咳や鼻水の原因はさまざま。

感染症だけでも、
疑うべき病原体は
たくさんあります。



遺伝子レベルでの病原体検査をご紹介します。

主要な病原体の遺伝子を検出する検査

犬呼吸器疾患パネル PCR 検査

どんな検査ですか？

PCR検査とは、検体中に含まれる微量の遺伝子を増幅して検出することが可能なテクノロジーです。

犬呼吸器疾患パネルPCR検査は、呼吸器症状や結膜炎等の原因となる主要な病原体の遺伝子を検出するもので、複数の細菌、ウイルスの遺伝子の有無を一度で確認することが可能です。

今までの検査ではこれらを同時に検出することは難しかったため、とても効率的な検査といえます。



この検査は何に役立つの？

- 呼吸器症状の原因は様々です。感染症が疑われる場合は、原因となる病原体を特定することで、よりの確な治療が可能となります。またこの検査は、感染症以外の原因が疑われる場合でも本当に感染症ではないのかを確認するために有効です。

検体の採取

喉の奥や目の結膜のぬぐい液を採取して検査を行います。





検出可能な犬の病原体

| 細菌 | ウイルス |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">● ボルデテラ● マイコプラズマ● ストレプトコッカス | <ul style="list-style-type: none">● 犬インフルエンザウイルス● 犬パラインフルエンザウイルス● 犬ジステンパーウイルス● 犬アデノウイルス2型● 犬ヘルペスウイルス● 犬コロナウイルス |